

平成30年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策)
事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

平成30年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

都道府県	市 町 村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
			H29	H30	H31		
茨城県	城里町	城里町	●	●	□	A	イノシシ肉のPR活動、革製品の試作、食肉処理施設の検討、販売促進グッズ等製作が行われるなど、適切に事業がなされていると評価できる。

(注1)「事業実施段階」の凡例： ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)

(注2)「評価」の区分： A…優良 B…良好 C…低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金実施要領別紙3の第7の1の規定に基づき、第三者である出川真也から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】
出川真也

【意見聴取の概要】

城里町が事務局となり、料理の試作には町内で割烹を営む事業者などが参加、皮加工には地域おこし協力隊の他にも町外事業者へも呼びかけを行い、試作を行った。販売促進グッズ等を製作しイベント等でのイノシシ肉料理PR活動、革製品の試作が進んでおり、また、食肉処理施設の検討が進むなど、目標達成に向けた取り組みが順調に行われており、評価できる。